

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.27》2015年5月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎  
[horisyunro@pref.oita.lg.jp](mailto:horisyunro@pref.oita.lg.jp)

最近では海外から大分県に来られる観光客も別府、湯布院を中心に目立って増えています。本年1月から3月までの外国人観光客の県内宿泊者数は約14万人、昨年同期が約9万人ですので1.6倍伸びています。韓国からの観光客が7割近くを占めますが、台湾や香港、タイをはじめ多くの国から来られているようです。引き続き、大分からの情報発信に取り組んでまいります。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>

## 海外大分県関係者の皆様へ

世界で活躍する大分県関係者の皆様に、国際政策課海外戦略班及び国際交流班総括よりごあいさつ申し上げます。お気軽にご連絡下さい。今年度もどうぞよろしくお祈りいたします。



海外戦略班  
課長補佐(総括)  
和田 隆志  
(Wada Takashi)  
メールアドレス  
[wada-takashi@pref.oita.lg.jp](mailto:wada-takashi@pref.oita.lg.jp)

今年度は、地域創生に向けて多くの海外事業が展開されることになっていきます。海外戦略班が行う大分県海外戦略の見直し、観光客誘致と県産品販路開拓が一体となった海外プロモーションはもとより、県庁内の多くの海外施策を連携させることも当班の仕事です。何よりも、「What's up, OITA!」の読者の皆様をはじめ本県ゆかりの方々との絆を築いていくことが大切であると思っています。皆様の地域にもお伺いするかもしれません。どうか宜しくお祈り致します。



国際交流班  
主幹(総括)  
石倉 順  
(Ishikura Jun)  
メールアドレス  
[Ishikura-jun@pref.oita.lg.jp](mailto:Ishikura-jun@pref.oita.lg.jp)

国際交流班3年目となります。さて、当班は4月に、中国、韓国から新たな国際交流員を迎え、また、今回1名の異動がありました。今年度は、米国から100名以上の参加者をお招きする「日米草の根交流サミットおおいだ大会」の開催、県内大学生のグローバル化を目指す「トビタテ! 留学japan」など、新たな取り組みが行われますので、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 国際政策課 人事異動【5月1日付】のお知らせ

【旧】観光・地域振興課 国際観光班  
【新】国際政策課 国際交流班 主幹 香嶋 秀史



国際交流班へ異動してまいりました。国際交流の仕事に携わるのは5年ぶりになります。留学生施策や南米県人会等を担当しますのでよろしくお願い致します。

【旧】国際交流班  
【新】海外戦略班 主幹 平山 聖子



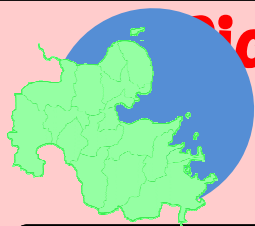
国際交流から海外戦略へと業務が変わり、今後は「what's up, Oita!」の編集も担当する事となります。大分の「今」をお届けできる事を楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

## 海外大分県人会 交流掲示板



### ブラジル大分県人会からのお便り

ブラジル大分県人会より今年度総会の写真を頂きました。  
大分県に来県した研修生2名も参加され、会員の皆様から激励の言葉を頂いたようです。  
(写真提供) 同県人会 矢野敬崇会長



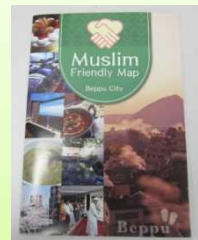
Pick Up! 大分の「今」

# 県内の出来事(4月)



## 4月1日(水) ムスリムフレンドリーマップ作成

イスラム教徒の留学生らでつくる別府ムスリムフレンドリークラブが「ムスリムフレンドリーマップ」を作成しました。イスラム教徒が食べられるメニューがあるレストラン、人前で素肌を見せずに入浴できる貸し切り湯がある温泉、可能な限り患者と同性の医師が診察し、英語での対応が可能な病院等、別府市内の19施設がマップに掲載されています。地図は留学生に配られるほか、外国人観光客向けに観光案内所等に置かれています。



## 4月16日(木)「JRおおいたシティ」オープン

複合商業施設やホテルを併設した大分市の大分駅ビル「JRおおいたシティ」がオープンし、午前10時の開業前から三千人もの客が詰めかけました。ファッション、雑貨、趣味などバラエティーに富んだ183店がずらりと並び、中でも大分・九州初出店は6割を超す119店もあり、幅広い世代が様々なショップを巡っていました。JRおおいたシティは「開業1年目で入館客数1,100万人、売上高200億円を目指す」としています。



## 注目記事① 4月24日(金) OPAM(大分県立美術館)開館



温暖で風光明媚、豊かな自然に培われてきた、柔らかな県民性とアジアや西洋から異文化を受け入れ吸収しながら、伝統や風習に融合してきた大分県。その県都大分市に「出会いと五感のミュージアム」をコンセプトとした大分県立美術館が開館しました。

設計は、建築界のノーベル賞とも呼ばれるプリツカー賞を受賞した坂 茂氏。シンプルな箱形の建物をガラスで覆い、外壁のデザインは伝統工芸の竹工芸をイメージした印象的なデザインを採用しています。

館長は、西武美術館・セゾン美術館やフリーランスの学芸員として数々の展覧会を手がけてきた、新見隆氏。年4回程度の企画展に加え、大分が誇る約5,000点の所蔵作品から厳選したコレクション展を開催します。さらには、カフェやショップなどもあり、誰もが気軽に立ち寄れる空間を提供します。

### ◇開館記念展

モダン百花繚乱「大分世界美術館」

—大分が世界に出会う、世界が大分に驚く「傑作名品200選」

古今東西の巨匠の名品が、大分の地で出会い、地元の美術とも響き合う壮麗な美の世界を紹介

海外作家:ダリ、ミロ、ターナー、マティス、モンドリアン など

会期:2015年4月24日(金)~7月20日(月・祝)

### ◇開館時間

日~木曜日:10:00~19:00 金、土曜日:10:00~20:00

◇お問い合わせ 企画広報課097-533-4500 <http://www.opam.jp>







## 注目記事② 世界水フォーラムに大分県ブース出展

水に関する世界最大級の国際会議「第7回世界水フォーラム」が、4月12日～17日に韓国・大邱市、慶尚北道で開催されました。世界水フォーラムは3年ごとに開催され、水不足の解消や水資源の管理、水と食糧、水と生態系など様々な問題について議論します。開幕式には朴 槿恵大統領をはじめ、国内外の主要関係者1,800人が参加しました。

大分県は、日本パビリオンへ「OITA Prefecture」としてブースを出展し、日本一の湧出量を誇る「おんせん県おおいた」や、「大分県で水環境活動を行うNPOの活動」、「(世界遺産)国東半島・宇佐の農林水産循環」のPRをしました。準備したパンフレット等はほとんどなくなるほど多数の来場者があり、豊富な水資源をもつ大分県を、様々な国の方に知ってもらおう貴重な機会となりました。



## 注目記事③ 湖北省の現在

昨年8月末から湖北省に派遣され、武漢大学で留学生活を送っています。湖北省は、中国全土から見れば、33ある省レベルの自治体のうちの一つに過ぎませんが、面積約19万km<sup>2</sup>、人口約6千万人を擁し、日本のほぼ半分に相当します。また、近年の目覚ましい発展により、域内総生産(GDP)は、すでにタイ一國を凌駕するほどに成長し、中間層の増加により有望な消費市場が形成されつつあります。

そうした中で、日系企業の熱い視線も、この湖北省に注がれているようです。日本貿易振興機構の調査によると、昨年上半期、日系企業の対中投資額が前年度同期比で48.8%減少する中にも、湖北省への投資額は増加傾向を維持しています。

また、これまで主だった自動車産業に加え、サービス業における日系企業の進出も目立ち始めており、昨年はニトリの中国一号店、イオンモールの中国内陸部における初の店舗が、いずれも湖北省の省都武漢市にオープンし、話題となりました。

既に本県からは、洋菓子店や寿司店、自動車部品工場などが湖北省へ進出していますが、我が国からの商品や資金の流れが加速する中で、今後ますます本県と湖北省との経済的交流が活発化していくのかもしれませんが。



〈氏名〉阿南 大輔  
〈所属〉商業・サービス業振興課



## ブラジルから研修生が来県しました

**Muito prazer en conhecerlo! 「はじめまして！」**

大分県とブラジル連邦共和国との懸け橋となるため、ブラジル大分県人会を通じて、矢野ダニエル有知さん、矢野カロリーナ百合香さんが来県しました。

一年間、別府大学別科日本語課程で学びます。副知事へ来県挨拶を行った際は、「大分について広く勉強していただきたい。また、大分県とブラジルの交流の核となる県人会、そして、ブラジルとの懸け橋として活躍してください。」と激励を受けました。



# From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミリアム・スターリング  
(Miriam Starling)  
県国際交流員  
英国  
[pu101503@pref.oita.jp](mailto:pu101503@pref.oita.jp)

3月26日から4月12日まで、私の両親が大分県に来ました。日本への旅行は三回目でしたが、九州は初めてでした。湯布院、国東半島、臼杵、別府など、また大分県だけでなく、熊本県、鹿児島県にも行きました。母のガイドブックに「九州は日本の島々の一番きれいな島」と書いてあり、母も「大分県、九州は信じられないほど美しいわ!」とっていました。父は食に興味があるので、関さば・関あじ、とり天などの大分名物を食べるのは楽しかったです。母は、温泉、仏像に興味があるので、大分県の温泉、石仏、寺などを訪れることができ、嬉しかったです。二人とも九州や大分が大好きになったようです。両親が来年また来たら、大分県の他のすばらしいことを見せたいと思います!



湯布院にて

韓国及び中国から、新たに国際交流員が着任しました!!  
韓国出身の金 眞雅さん、中国出身の李 曉雪さんのお二人です。  
4月から1年間国際交流員として活躍して頂きます。



李 曉雪  
(Li Xiaoxue)  
県国際交流員  
中国  
[pu101501@pref.oita.lg.jp](mailto:pu101501@pref.oita.lg.jp)

はじめまして。中国の湖北省武漢市から参りました李曉雪(リギョウセツ)と申します。湖北省は中国南部中央、長江の中流部に位置しており、世界的に注目されている三峽ダムがあります。また、古代の沢が沈積したことにより、多くの湖が分割された湖北省は、「千湖の省」とも呼ばれています。

この度は平成27年4月から大分県の国際交流員(CIR)として勤めさせていただきます。大分県の国際化や中日交流と相互理解に貢献することを頑張っていきたいと思っております。大分県の皆様と一緒に働けること、たくさんの人々と友達になれることをすごく楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。



黄鶴楼  
(武漢市を代表する建築物)



金 眞雅  
(Kin Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.lg.jp](mailto:pu101502@pref.oita.lg.jp)

アンニョンハセヨ! 初めまして。韓国から参りました金眞雅(キム・ジナ)と申します。私は日本語と日本文化に興味を持ち始めてから、自分が覚えた日本語で日本人と「話したい」「交流したい」と思うようになりました。そして、大学では日本学を専攻し、国際交流員になりたいと夢みてきました。この度、その夢が叶い、大分県庁に着任することができたことをとてもうれしく思っております。

大分県は初めてですが、皆さん優しく、また暖かい所だという印象を受けました。これからは国際交流員として皆さんと触れ合う交流をし、日韓の懸け橋になれるよう精一杯頑張りたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【姫島/日出町】



きつね踊り/姫島村



観音崎/姫島村



城下カレイ/日出町



陽谷城跡からの眺望/日出町



話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先/お問い合わせ先】

国際政策課 担当:平山 聖子(ひらやま せいこ)

【Mail】 [hirayama-seiko@pref.oita.lg.jp](mailto:hirayama-seiko@pref.oita.lg.jp)